

JACET Kansai Newsletter

No. 102 September 15, 2025

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 石川慎一郎 (神戸大学) (Chapter President: Shin'ichiro ISHIKAWA, Kobe University)

事務局: 〒612-8577 京都府京都市伏見区深草塚本町 67

龍谷大学経営学部 山岡華菜子研究室内 JACET 関西事務局 山岡華菜子

(Chapter Office:c/o Kanako Yamaoka, Faculty of Business Administration, Ryukoku University, 67 Tsukamoto-cho, Fukakusa, Fushimi-ward, Kyoto city, Kyoto 612-8577)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

■副支部長挨拶■

(松田紀子・SIG 担当)

この度 JACET 関西支部の副支部長を拝命いたしました近畿大学の松田紀子です。尊敬する先生方とともに活動に携わることを緊張しつつも、大変嬉しく思っております。JACET 関西支部には大学院生の頃からさまざまな研究会に所属してお世話になってまいりました。教育対象や研究内容、関心に応じて計 7 つの研究会に参加し、そのいずれにおいても毎回多くの学びを得ることができました。

私自身の経験から、JACET の支部研究会は教員としてだけでなく研究者としても、実践知を共有し、理論的知識を深める場であると思います。授業方法など教育現場での工夫やちょっとした相談事を共有する機会も多くあり、経験豊富な先生方のお話を伺うたびに、自分が担当する学生にとってどのような授業が良いのか、改めて考えさせられました。また、教育機関ごとの制度の違いに気づかされることも多くありました。研究面では、少人数でちょうど良い距離感の中、率直な意見交換ができるため、新たな問い合わせが生まれることも少なくありませんでした。発表経験を積む場ともなり、ベテランの先生方のご意見を直接拝聴できるのも研究会ならではの魅力です。

現在、JACET 関西支部には 10 の研究会が活動しています。開かれた参加制度を設けており、会員でなくとも参加が可能です。さらに、代表や副代表の任期を 2 年と定めることで、新しい人材が役割を担う機会が生まれ、研究会全体の活性化につながっています。こうした制度的な工夫は、多様性を重視し、教員や研究者としての成長を促す場としての機能を支えていると感じます。これまで私は研究会を出発点として JACET で出会った多くの先生方のご指導と交流を大きな糧としてきました。まだ研究会にご所属でない方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度、ご参加をご検討されてはいかがでしょうか。

■副支部長挨拶■

(山中司・紀要担当)

本年度より関西支部の副支部長を仰せつかりました立命館大学の山中 司です。ご挨拶ということで書かせて頂いておりますが、せっかくの皆さまへのお便りの機会ですので、私の方から 2 点、この場をお借りしてお伝えしたいことがございます。

1 点目は、JACET 関西の紀要についてです。本年度より研究交流会(REP)が JACET 関西内でスタートしたことはご存知かと思います。少しでも学会活動を通して、関西支部所属の皆さまの研究力の向上や、研究の高度化など、様々な活性に寄与できればとの思いが執行部にあり、その延長線上に JACET 関西の紀要がございます。紀要につきましては昨今若干「元気がない」状態で、是非とも皆さまより積極的なご投稿を頂けましたら幸いです。私の職務の一つが支部紀要として、投稿内容について直接ご相談頂いても全く構いません。

2 点目は、次年度(2026 年度)の国際大会についてです。今次の国際大会の最終日に、次年度の国際大会の会場校が立命館大学大阪・いばらきキャンパスになったと発表があり、会場校の主担当としてご挨拶させて頂きました。本年度は早稲田大学でしたので、東京という地の利の良さも功を奏し、大盛況に終わったと理解しています。こうした盛り上がりを受け、2026 年度は大阪・茨木の立命館大学にて開催することが正式に決定、告知されました。

私自身は会場校の責任者として、本取り組みが成功裡に終わるよう、精一杯努力させて頂く所存です。言うまでもなく、会場校の提供は関西支部からであり、JACET の全体的な活動に対する貴重な貢献であると思われます。JACET 関西の皆さまにおかれましては、まずもって、次年度の国際大会への積極的なご参加を頂きたいと共に、国際大会の準備にご協力頂ける先生がおられましたら、是非ともお申し出頂けましたら幸いです。

■支部研究会のご案内 ■ Notices from the Chapter Research Groups

関西支部では 10 の研究会が活発に活動しています。以下に、本年度の各研究会名、代表・副代表者名、代表・副代表者連絡先を紹介します。各研究会では原則として、常時、新入会員の申込みを受け付けておりますので、興味・関心のある研究会がありましたら、お気軽に各研究会の代表者までご連絡ください。また、最新の活動情報は、支部ホームページ (<https://jacet-kansai.org/sigs/>) にてご確認ください。

The Kansai Chapter has the following 10 Special Interest Groups (SIGs) that meet regularly. Please refer to the Kansai Chapter website (<https://jacet-kansai.org/sigs/>) for more information, or contact the leader of the SIG in which you are interested.

◆文学教育研究会 (Literature in Language Education)

代表：杉村 醇子（阪南大学）

sugimura[AT]hannan-u.ac.jp

副代表：齋藤 安以子（摂南大学）

asaito[AT]ilc.setsunan.ac.jp

◆学習英文法研究会 (Pedagogical English Grammar)

代表：萩澤 大輝（近畿大学）

hagisawa[AT]bus.kindai.ac.jp

副代表：前田 宏太郎（愛媛大学）

k-maeda[AT]human.kobegakuin.ac.jp

◆ESP(関西)研究会 (ESP Kansai Chapter)

代表：照井 雅子（近畿大学）

terui[AT]kindai.ac.jp

副代表：浅野 元子（大阪医科大学）

motoko.asano[AT]ompu.ac.jp

副代表：仁科 恭徳（神戸学院大学）

ynishina[AT]gc.kobegakuin.ac.jp

副代表：石井 達也（高知大学）

tatuya030208[AT]gmail.com

副代表：中嶋アンディ史人（神戸学院大学）

andynakajima[AT]gc.kobegakuin.ac.jp

副代表：Nick Musty（神戸学院大学）

n.musty[AT]gc.kobegakuin.ac.jp

◆「海外の外国語教育」研究会 (Foreign Language Education Abroad)

代表：山川 智子（文教大学）

yamakawat[AT]bunkyo.ac.jp

副代表：大場 智美（多摩大学）

ohba-t[AT]tama.ac.jp

◆教材開発研究会 (Teaching Materials Development)

代表：石川 有香（名古屋工業大学）

ishikawayuka.jp [AT] gmail.com

副代表：仲川 浩世（大阪女学院大学）

hcarrots[AT]gmail.com

◆リスニング研究会 (Listening)

代表：松村 優子（近畿大学）

favoritemelody2015[AT]gmail.com

副代表：神野 雅代（四天王寺大学）

kanno[AT]shitennoji.ac.jp

◆リーディング研究会 (Reading)

代表：原田 洋子（大阪公立大学）

mailto:brisk4050[AT]ta2.so-net.ne.jp

副代表：村岡 有香（聖学院大学）

y_muraoka[AT]seigakuin-univ.ac.jp

◆ライティング指導研究会 (Writing Research Kansai Chapter)

代表：野口/豊 浩子（国際医療福祉大学）

mailto:coconog223[AT]gmail.com

副代表：Ekaterina Arshavskaya（静岡県立大学）

arshavskaya[AT]gmail.com

◆授業学（関西）研究会 (Developmental Education Kansai Chapter)

代表：工藤 泰三（名古屋学院大学）

taizo[AT]ngu.ac.jp

副代表：中村 詩のぶ（武蔵大学）

nash0715[AT]cc.musashi.ac.jp

◆会話分析研究会 (Conversation Analysis)

代表：石野未架（同志社大学）

mishino[AT]mail.doshisha.ac.jp

副代表：菊池 春花（大阪大学・博士後期課程）

u659236d[AT]ecs.osaka-u.ac.jp

■ 2025 年度第 1 回支部講演会の報告 ■

Report on the 1st Chapter Lecture Meeting of 2025

JACET 関西支部第 1 回支部講演会が 2025 年 6 月 21 日（土）にオンライン(ZOOM)にて開催されました。石川慎一郎先生がコーパス言語学の観点から、また門田修平先生が心理言語学の観点から大学英語教育との関係を論じられ、対談や参加者との議論を通じて言語学研究と英語教育の関係を考える有意義な機会となり、盛況のうちに終了しました。

日時：2025 年 6 月 21 日（土）15:20～17:00

会場：オンライン(ZOOM)

講師：石川慎一郎先生（神戸大学）、門田修平先生（関西学院大学名誉教授・高野山大学）

演題：言語学の研究成果をどう英語教育に活かすか？コーパス言語学・心理言語学からの展望

The Kansai Chapter First Lecture Meeting of the 2025 academic year featured Professor Shin'ichiro ISHIKAWA (Kobe University) on corpus linguistics and English education, followed by Professor Emeritus Shuhei KADOTA (Kwansei Gakuin/Koyasan University) on the psycholinguistic perspective. Their dialogue sparked active participant discussions, making the event a valuable and

well-received opportunity to reconsider links between linguistic research and English education

Date: Saturday, June 21, 2025, 15:20–17:00

Venue: Online (ZOOM)

Lecturer: Shin'ichiro ISHIKAWA (Kobe University), Shuhei KADOTA (Kwansei Gakuin/Koyasan University)

Title: How can the findings from language research be applied to ELT?

Perspectives from corpus linguistics and psycholinguistics

■ 2025年度第1回研究交流会（REP）の報告 ■ 2025 First Research Exchange Platform (REP) Meeting

JACET 関西支部第1回研究交流会（Research Exchange Platform Meeting）が2025年6月21日（土）、支部講演会に先立ち、オンライン(ZOOM)にて開催されました。REPは、「多様性」をキーワードに、会員の日ごろの研究や教育実践の成果を気軽に発表・共有できる場として本年度から始まりました。第1回は、下記の発表がありました。

The JACET Kansai Chapter's First Research Exchange Platform Meeting was held online (Zoom) on Saturday, June 21, 2025, preceding the chapter lecture. Launched this academic year with “diversity” as its key theme, REP provides a venue where members can readily present and share the outcomes of their ongoing research and educational practice. The first meeting featured the following presentations:

神谷 健一（大阪工業大学）

Kenichi KAMIYA (Osaka Institute of Technology)

ChatGPT が初めての学生のための教材 一般用途のプロンプトと外国語学習に有益なプロンプト

ザーボルスカー シャック ドロタ（大阪大学）

Zaborska Schack Dorota (The University of Osaka)

Enhancing Critical Thinking About Real-World Challenges: Insights from a Project-Based EFL Course on Healthy Ageing

築地原 尚美（滋賀県立大学）

Hisami TSUICHIBARU (University of Shiga Prefecture)

NVivo を活用した協働推敲プロセスの可視化と教育効果の検証

フコウ（神戸大学）

FU Gang (Kobe University)

日本語・中国語母語の英語学習者および英語母語話者による英作文中での対比型連結副詞類の使用実態：学習者コーパスに基づく量的研究

柏原 郁子（摂南大学）

Ikuko KASHIWABARA (Setsunan University)

摂南大学におけるオンデマンド授業「英語実践」の開発と運用—ICT 活用と学習履歴に基づく実践報告

益田 拓実（神戸大学）

Takumi MASUDA (Kobe University)

日本語母語の英語学習者および英語母語話者による作文中でのテンス・アスペクト使用パターンの比較—学習者コーパスに基づく研究—

■ 2025年度第2回支部講演会のお知らせ ■ Kansai Chapter Second Lecture Meeting of AY 2025

2025年度第2回支部講演会は、2025年10月18日（土）に「教材開発研究会」による講演を予定しています。支部の研究会の活動を知る良い機会です。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページ(<http://www.jacet-kansai.org/>)をご覧ください。

日時：2025年10月18日（土）15:20～17:00

会場：オンライン (ZOOM) (アクセス情報は後日お知らせします)

講師：投野由紀夫先生（東京外国语大学大学院教授）
演題：「私はどのように英語教材を作ってきたか」

Corpus and CEFR approaches toward English teaching materials development.

概要：詳細は<http://www.jacet-kansai.org/>にてご確認ください。

参加費：JACET会員は参加費無料、非会員は有料（500円）※事前に上記ホームページからお申し込みください。

使用言語：英語および日本語

The Kansai Chapter Second Lecture Meeting of the 2025 academic year by Material Design and Development SIG will be held on Saturday, October 18. We will inform you later about the details via our website (<https://jacet-kansai.org/>).

Date: Saturday, October 18, 2025, 15:20-17:00

Venue: Online (TBA)

Speaker: Yukio Tono (Professor, Institute of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies)

Title: 「私はどのように英語教材を作ってきたか」

Corpus and CEFR approaches toward English teaching materials development.

Abstract: Details will be available on the Kansai Chapter website (<https://jacet-kansai.org/>).

Fee: JACET member, free; nonmember, 500yen.

Pre-registration is required.

Main language: English and Japanese

■ 2025年度第2回研究交流会（REP）発表募集 ■ CFP for the 2nd REP Meeting

第2回REPの申し込みを受け付け中です。REPは「多様性」をキーワードとする新しい研究プラットフォームで、幅広い内容、タイプ（リサーチ系・実践系・その他）、形式（研究構想・中間報告・ワーク

ショップなども含む) の発表を歓迎します。
○発表枠 30 分 or 60 分
○発表申し込み締め切り 2025 年 9 月 18 日 (木)
○申込フォーム (application form) :
<https://forms.gle/DYd9QgSCa7E67jdT7>
○開催日 2025 年 10 月 18 日 (土) 1400~1500 (予定)

Applications are now being accepted for the 2nd REP Meeting. REP is a new research platform centered on the keyword “diversity,” welcoming presentations across a wide range of content, types (research-based, practice-based, and other), and formats (including research proposals, interim reports, workshops, and more).

- Presentation slots: 30 minutes or 60 minutes
- Submission Deadline: Thursday, September 18, 2025
- Application form:
(<https://forms.gle/DYd9QgSCa7E67jdT7>)
- Event date: Saturday, October 18, 2025, 14:00-15:00 (tentative)

■ 2025 年度関西支部大会のお知らせ ■ The Kansai Chapter 2025 Conference

2025 年度の関西支部大会を以下の要領で開催します。
日程：2026 年 3 月 7 日 (土)
場所：大阪成蹊大学駅前キャンパス
大会テーマ：AI 時代に求められる英語力：実践と評価
基調講演 1：安藤昇先生（青山学院大学、株式会社バザール）
基調講演 2：日野信行先生（大阪大学名誉教授、追手門学院大学教授）

ご講演の詳細は、次号のニュースレターならびに支部 Web サイト (<https://jacet-kansai.org/>) にてご案内致します。

研究発表申込：10 月 1 日 (水) ~11 月 30 日 (日)

申込み詳細に関しては、10 月以降に支部 HP でご案内致します。多くの皆様からの申込みをお待ちしております。

The Kansai Chapter 2025 Conference will be held as follows:
Date: Saturday, March 7, 2026
Venue: Osaka Seikei University, Ekimae Campus
Conference Theme: English Competence in the AI Age - Aspects of Practice and Evaluation
Further details of the conference will be announced in the next newsletter and on the Kansai Chapter website
(<http://www.jacet-kansai.org/>)

Keynote Speech 1:

Mr. Noboru Ando (Aoyama Gakuin University; Bazaar Inc.)

Keynote Speech 2:
Dr. Nobuyuki Hino (Professor Emeritus, the University of Osaka; Professor, Otemon Gakuin University)

Call for papers: October 1(Wed) – November 30(Sun)

JACET members are invited to submit applications to present research papers and practical reports. Details will be provided on the Kansai Chapter website starting in October 2025. We look forward to your active participation.

■ 紀要編集委員会より ■ Message from the Bulletin Editorial Committee

2025 年 7 月 1 日より、第 28 号の投稿受付を開始しています (投稿締切: 9 月 30 日)。第 25 号から「研究論文」「研究ノート」「実践研究論文」「実践ノート」(以上査読有)「SIG 報告」(査読無) の 5 つの種別への投稿が募集されています。「研究論文」「実践研究論文」は 20 ページ以内、「研究ノート」「実践ノート」は 15 ページ以内、「SIG 報告」は 6 ページ以内となっています。詳細は JACET 関西ウェブサイトをご覧ください。

支部ホームページ (<https://jacet-kansai.org/journal/>) の投稿用テンプレート (WORD) をそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限：2025 年 9 月 30 日 (火) 午後 11 時 59 分
論文送付先：紀要編集委員会 事務局長

板垣静香 (立命館大学)

jacetkj [AT] gmail.com

提出方法：ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル (WORD と PDF)。
(原稿郵送は受け付けません。)

※ 受領後 3 日以内に事務局より確認の返信が届きます。万一、3 日経っても返信が届かない場合は、板垣静香まで再度ご連絡ください。

※ 提出方法の詳細は、支部ホームページ
<https://jacet-kansai.org/journal/>
をご覧ください。

重要な日程：

2025 年 9 月 30 日 (必着) 投稿原稿締切
11 月 30 日 審査結果通知

2026 年 1 月 6 日 (必着) 最終修正原稿締切
3 月 31 日 刊行

We welcome your submissions for the next issue, JKJ No. 28, which requires online registrations starting on July 1st. Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements. You can find the details on the JACET KANSAI website.

Please use our template so that we can minimize our proofreading process.

1. Go to JACET Kansai Journal website, and submit your application.
2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:
Shizuka Itagaki (Ritsumeikan University)
JACET Kansai Journal Secretariat
jacetkj [AT] gmail.com

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation. Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Shizuka Itagaki, Secretariat, JACET Kansai Journal.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:
September 30, 2025 (via email as an attached file)
- Announcement of editorial decision:
November 30, 2025
- Deadline for receipt of revised final manuscripts:
January 6, 2026 (via email as an attached file)
- Publication: March 31, 2026

Please refer to the guidelines and template at the Kansai Chapter website (<https://jacet-kansai.org/journal/>).

■ 事務局より ■ Messages from the Kansai Chapter Office

9月になってもまだまだ記録的な猛暑が続いております。皆さまに於かれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、今年度第2回支部講演会、研究交流会が10月18日（土）に、支部総会が11月15日（土）に開催予定です。いずれもオンラインで開催ですのでお気軽にご参加ください。

Although the record-breaking heat continues into September, I hope this finds you well. We are pleased to announce that the chapter's second lecture and research exchange of the academic year will be held on Saturday, October 18, followed by the chapter's general meeting on Saturday, November 15. Both events will be held online, and we warmly invite your participation.

■ 会員情報の変更 ■ Updates to Member Information

支部会員向けの各種案内の配達やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変わられた方は、必ず本部事務局 (jacet@zb3.sonet.ne.jp) までご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。

特に、支部からの案内メールが宛先不明で数多く戻ってまいります。ご登録のメールアドレスをご確認ください。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers, and other information to the JACET Main Office (jacet@zb3.sonet.ne.jp).

■あとがき■ Editors' Note

本号の発行にあたり、ご執筆・ご校正にご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。九月も半ばとなり、まだ暑さが残る一方で、朝晩には秋の気配も感じられるようになってきました。季節の変わり目、どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。次回は12月発行予定です。

広報 松岡 真由子（立命館大学）
石田 菖（関西大学）

We would like to express our heartfelt gratitude to all the colleagues who contributed through writing and proofreading for this issue. As we reach mid-September, the lingering heat remains, yet the mornings and evenings already carry a touch of autumn. Please take good care of yourselves during this change of season. The next issue is scheduled for publication in December.

Mayuko Matsuoka (Ritsumeikan University)
Ayame Ishida (Kansai University)